

製品名： アルカリペプトン水 ‘栄研’

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： アルカリペプトン水 ‘栄研’
供給者の会社名称： 栄研化学株式会社
住所： 〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門： 信頼性保証
(TEL:0280-56-2822, E-MAIL:shinho2@eiken.co.jp)
緊急連絡電話番号： 0280-56-2822 (平日 8:15 - 17:00 JST)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	区分
急性毒性(経口)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(吸入:粉塵・ミスト)	区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響	区分に該当しない(区分外)
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない(区分外)
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない(区分外)

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 警告
危険有害性情報： H332 吸入すると有害
H319 強い眼刺激

注意書き：

安全対策 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
EP264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置 P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

製品名： アルカリペプトン水 ‘栄研’

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	含有量 wt. %	CAS RN®	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
炭酸ナトリウム	2.23	497-19-8	1-164	公表	通知-令 和7	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合： P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合： EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合： P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

飲み込んだ場合： EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 泡消火剤、炭酸ガス消火剤、ドライケミカル消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤： 情報なし

火災時の特有の危険有害性： 情報なし

消火活動を行う者の特別な保護具及び
予防措置： 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する

環境に対する注意事項： 排水系、下水または水路への漏出を防止すること。

封じ込め及び
浄化の方法及び機材： 漏出物を回収すること。できるだけ拭き取って回収し、こぼれたところを完全に拭き取る。

製品名： アルカリペプトン水 ‘栄研’

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： EP264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

局所排気・全体換気： 適切に換気し保護具を着用し取扱うこと。

安全取扱注意事項： P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

接触回避： 情報なし

衛生対策： EP264 取扱い後は手をよく洗うこと。

保管

安全な保管条件： 添付文書または使用説明書及びラベルに記載された保管条件に従うこと

安全な容器包装 製品に使用している容器をそのまま使用する

材料：

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH		
	管理濃度	許容濃度	TLV-C	TLV-STEL	TLV-TWA
炭酸ナトリウム	未設定 ppm 未設定 mg/m3	未設定 ppm 未設定 mg/m3	未設定 ppm 未設定 mg/m3	未設定 ppm 未設定 mg/m3	未設定 ppm 未設定 mg/m3

保護具

呼吸用保護具： 適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること

眼、顔面の保護具： 適切な目保護具を着用し目への接触を防止すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用し皮膚への接触を防止すること。

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 物理的状态： 固体(粉末)

色： 白色

臭い： データなし

製品名： アルカリペプトン水 ‘栄研’

融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点 及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	8.5-8.7
動粘度率：	データなし
溶解度：	データなし
n-オクタノール／水 分配係数(log値)：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	データなし
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	通常取扱および保管時には安定
化学的安定性：	通常取扱および保管時には安定
危険有害反応可能性：	通常取扱条件下では危険有害反応を起こさない
避けるべき条件：	日光、熱、湿気
混触危険物質：	情報なし
危険有害な分解生成物：	情報なし

11. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）：	区分に該当しない（区分外）
急性毒性（経皮）：	区分に該当しない（区分外）
急性毒性（吸入）：	分類できない（気体） 区分に該当しない（区分外）（蒸気） 区分4（粉塵・ミスト）
皮膚腐食性／刺激性：	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分2
呼吸器感作性：	分類できない
皮膚感作性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	分類できない
発がん性：	分類できない

製品名： アルカリペプトン水 ‘栄研’

生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	分類できない
誤えん有害性：	分類できない
その他の情報：	

成分

炭酸ナトリウム

急性毒性(経口)：	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮)：	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(吸入)：	区分に該当しない(分類対象外)(気体) 分類できない(蒸気) 区分4(粉塵・ミスト)
皮膚腐食性/刺激性：	区分に該当しない(区分外)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	区分1
呼吸器感作性：	分類できない
皮膚感作性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	分類できない
発がん性：	分類できない
生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	区分3(気道刺激性, 麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	分類できない
誤えん有害性：	分類できない

1 2. 環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性：	区分に該当しない(区分外)
慢性毒性：	区分に該当しない(区分外)
残留性・分解性：	情報なし
生体蓄積性：	情報なし
土壤中の移動性：	情報なし
オゾン層への有害性：	分類できない
他の有害影響：	情報なし

成分

炭酸ナトリウム

生態毒性	
急性毒性：	区分に該当しない(区分外)
慢性毒性：	区分に該当しない(区分外)
オゾン層への有害性：	分類できない

製品名： アルカリペプトン水 ‘栄研’

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報 15章の該当法規制に従う。

報：

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策： 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

消防法： 非該当

PRTR法（化管法）（2023年施行）： 非該当

毒劇法： 非該当

安衛法： 名称等を表示すべき危険物及び有害物（炭酸ナトリウム），名称等を通知すべき危険物及び有害物（炭酸ナトリウム），皮膚刺激性有害物質（炭酸ナトリウム）

化審法： 製造輸入量の届出を要しない物質（炭酸ナトリウム）

海洋汚染防止法： 有害液体物質Z類物質（炭酸ナトリウム）

外国為替及び外国貿易管理法： 輸出許可物質（全リスト）（炭酸ナトリウム），輸出許可物質（16. キャッチオール規制品目）（炭酸ナトリウム）

1 6. その他の情報

その他： 本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。安全データシートの目的は 当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。品質保証書、規格書ではありません。

参考文献等： JIS Z 7252：2019、JIS Z 7253：2019